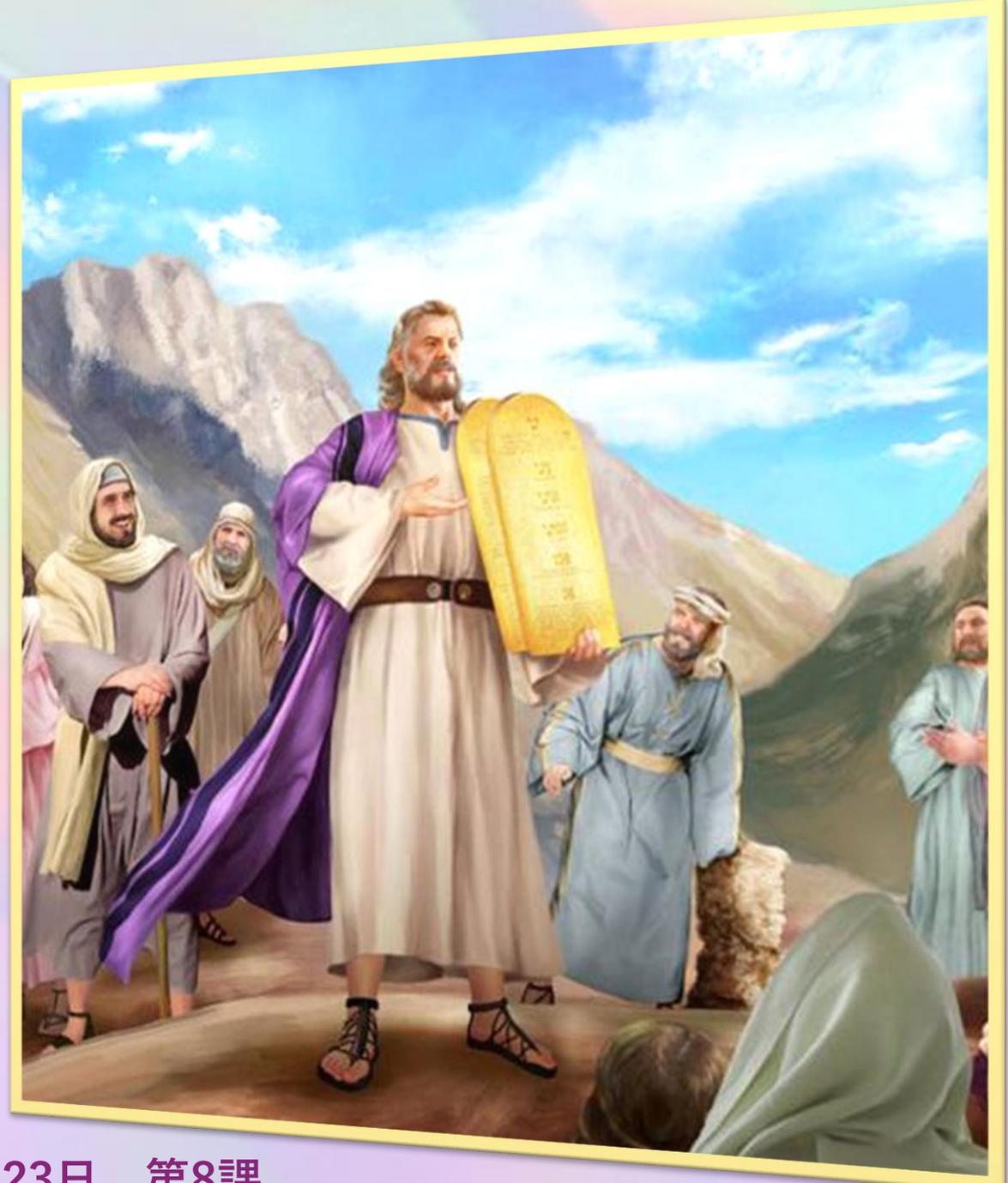


# シナイでの契約





『あなたがたは、わたしがエジプトびとにした事と、あなたがたを鷲の翼に載せてわたしの所にこさせたことを見た。それで、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るならば、あなたがたはすべての民にまさって、わたしの宝となるであろう。全地はわたしの所有だからである。あなたがたはわたしに対して祭司の国となり、また聖なる民となるであろう』。

出エジプト記 19:4-6 口語訳



あなたたちは見た／わたしがエジプト人  
にしたこと／また、あなたたちを鷲の翼  
に乗せて／わたしのもとに連れて来た  
ことを。

今、もしわたしの声に聞き従い／わたし  
の契約を守るならば／あなたたちは  
すべての民の間であって／わたしの宝と  
なる。世界はすべてわたしのものである。  
あなたたちは、わたしにとって／祭司の  
王国、聖なる国民となる。』

出エジプト記 19:4-6 新共同訳

紅海の渡河はイスラエルにとって一つの節目でした。二つ目の節目は、神ご自身の口を通して律法が宣べ伝えられたことです。

その瞬間、イスラエルは聖なる国家として誕生し、その存在を律する法則を授かった。

しかし、それらは単なる宗教的、民事的、あるいは健康に関する法律以上のものでした。これらすべての法の基盤となる十戒は、神の本質そのものを反映しており、それゆえイスラエルだけでなく、神の子であるすべての人々に適用されるのです。

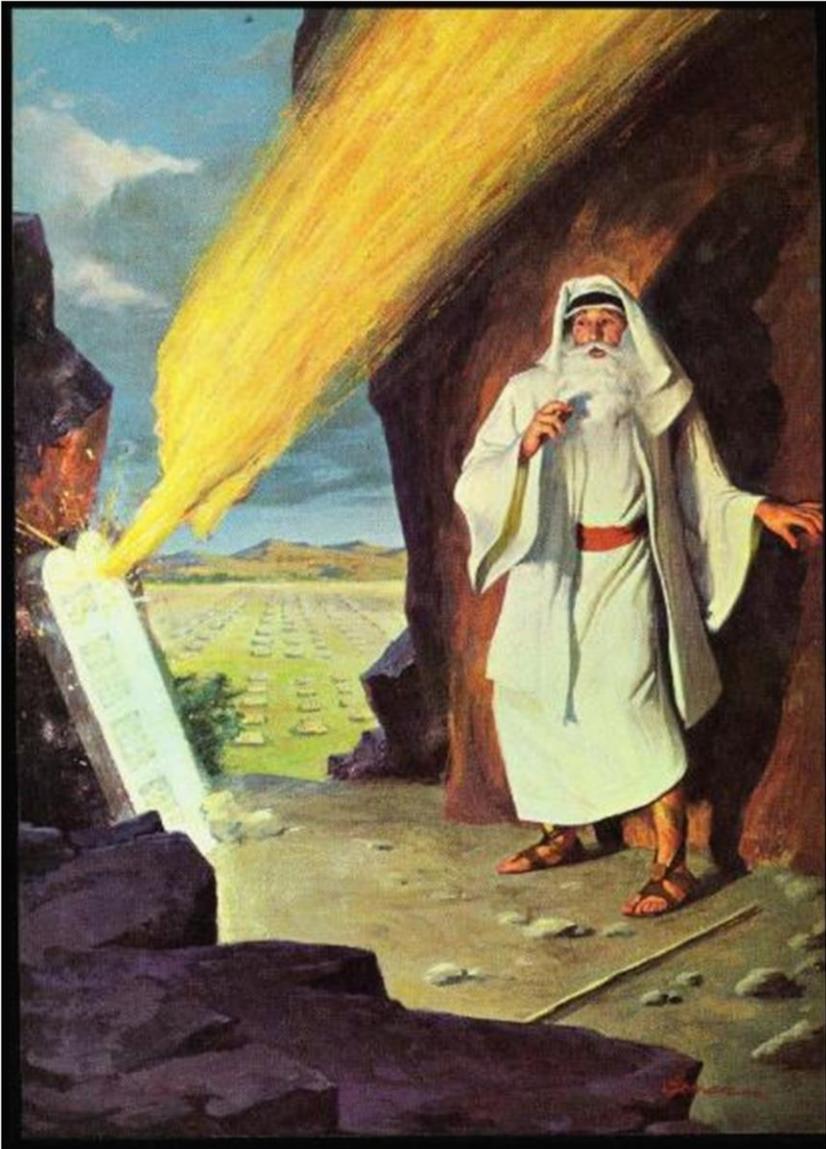


### ➡ 律法はどのように伝えられたか:

- シナイ山にて (出エジプト記 19:1-8)
- 賜物を受ける準備 (出エジプト記 19:9-25)
- 十戒という賜物 (出エジプト記 20:1-17)

### ➡ 律法の意味:

- 神の律法のさまざまな機能
- 神の約束としての律法
- 目的としての律法



律法は  
どのように  
伝えられたか

# シナイ山にて

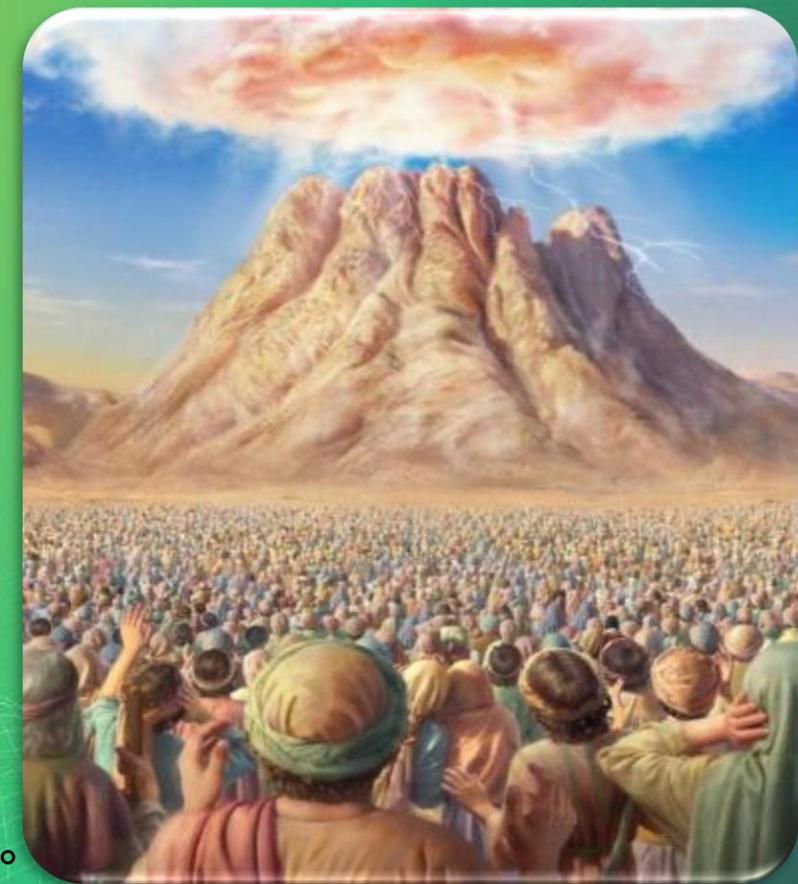
『あなたがたは、わたしがエジプトびとにした事と、あなたがたを鷲の翼に載せてわたしの所にこさせたことを見た。(出エジプト記 19:4)』

なぜ神はイスラエルをエジプトから連れ出したのか？

主に仕えるため（出 5:1、 7:16、 8:1、 20; 9:1, 13;、 10:3）。そうすることで、彼らは大きな恩恵（カナン之地を含む）を受けることになる。

エジプトを出てから3か月後、彼らはシナイ山の近くに宿営しました。そこでイスラエル国家建国の基盤が築かれました。神は彼らと契約を結ぶことを提案し、彼らはそれを受け入れました（出19:1-8）。

契約を受け入れることによって、イスラエルは何になるのか（出19:5-6）。



## 聖なる民

彼らは自らを神に  
献げ、神のご性質を  
明らかにする。

## 祭司の王国

彼らは他の人々を神と  
結びつけ、神の掟を  
教える。

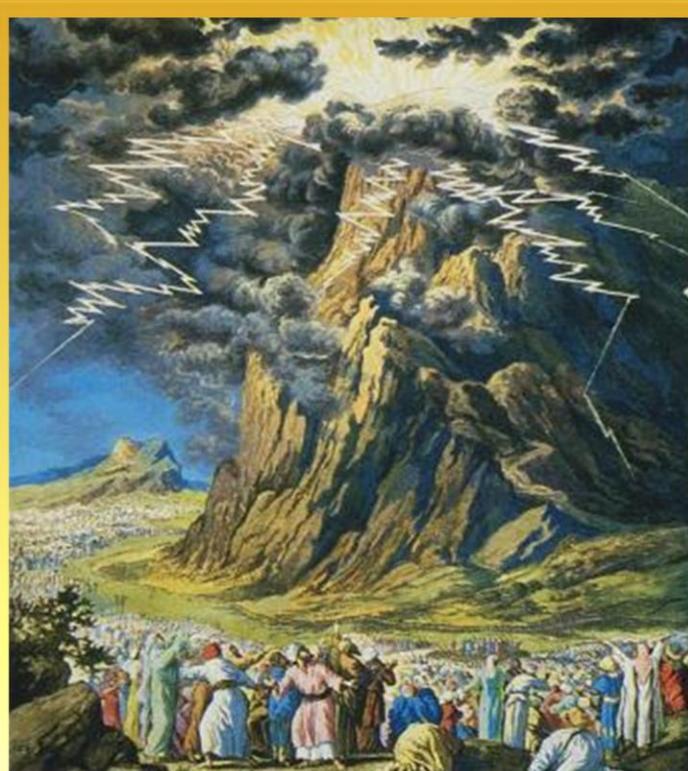
## 神の特別な宝

神はイスラエルを、神に  
ついての知識で世界を啓蒙する  
水路とされる。

神の「特別な宝」になったと想像してみてください。それにはどんな特別な権利が含まれ、あなたはどんな特別な責任を担うことになるのでしょうか。

# 賜物を受ける準備

シナイ山は全山煙った。主が火のなかであって、その上に下られたからである。その煙は、かまどの煙のように立ち上り、全山はげしく震えた。(出エジプト記 19:18)



シナイ山における神の律法の示しは、壮大で恐ろしいものでした（ヘブ12:18-21）。そのような事態に備えている人は誰もいません。ですから、人々は神の栄光に飲み込まれないよう、事前に身を清め、適切な距離を保つ必要がありました（出19:10-12）。

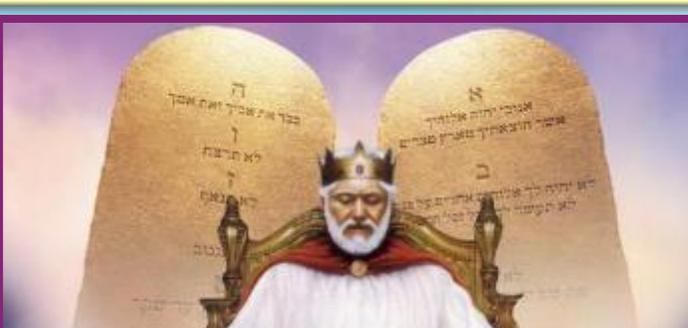
なぜこのような演出が必要だったのでしょうか？

神が彼らに語ろうとしていた言葉は、神自身の性質の現れでした。それに従うことは命であり、従わないことは死です。イスラエルは「契約の言葉、十戒」（出34:28）の重大さと重要性を十分に認識する必要がありました。

この法律には2つのバージョンが記録されています。1つは出エジプトの初めに記録されたもので、もう1つはカナンに入る前のモーセの最後の説教の一部として記録されています。

一見恐ろしいように思えるかもしれませんが、律法は神の最も優れた性質である愛を反映しています

（ロマ 13:10）。



十戒は神の愛のあらわれであるという  
考えを、あなたはどう理解していますか。

神の愛は、十戒の中に  
どうあらわれているのでしょうか。

# 十戒という賜物

「わたしはあなたの神、主であって、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出した者である。(出エジプト記 20:2)

神は律法を導入し、その主な役割を明らかにされました。「わたしはあなたを罪から贖った。それゆえ、あなたは今からこれを行わなければならない。」

(出 20:2) 律法を守ることは、私たちにとって贖いへの応答です。

それは、受けた愛に対する愛の応答なのです。



愛は律法を完成するものである。(ロマ 13:10)

神を愛する (申6:5、出20:3-11)

私たちの生活の中で神を第一に  
考え、神を敬い、崇拝しましょう。

神を偶像に置き換えることなく  
敬う

神の名、評判、そして人格を敬う

安息日を敬い、主の休息と礼拝の  
日としましょう

隣人を愛しなさい (レビ19:18、出20:12-17)

両親を尊敬する

生命を尊重する

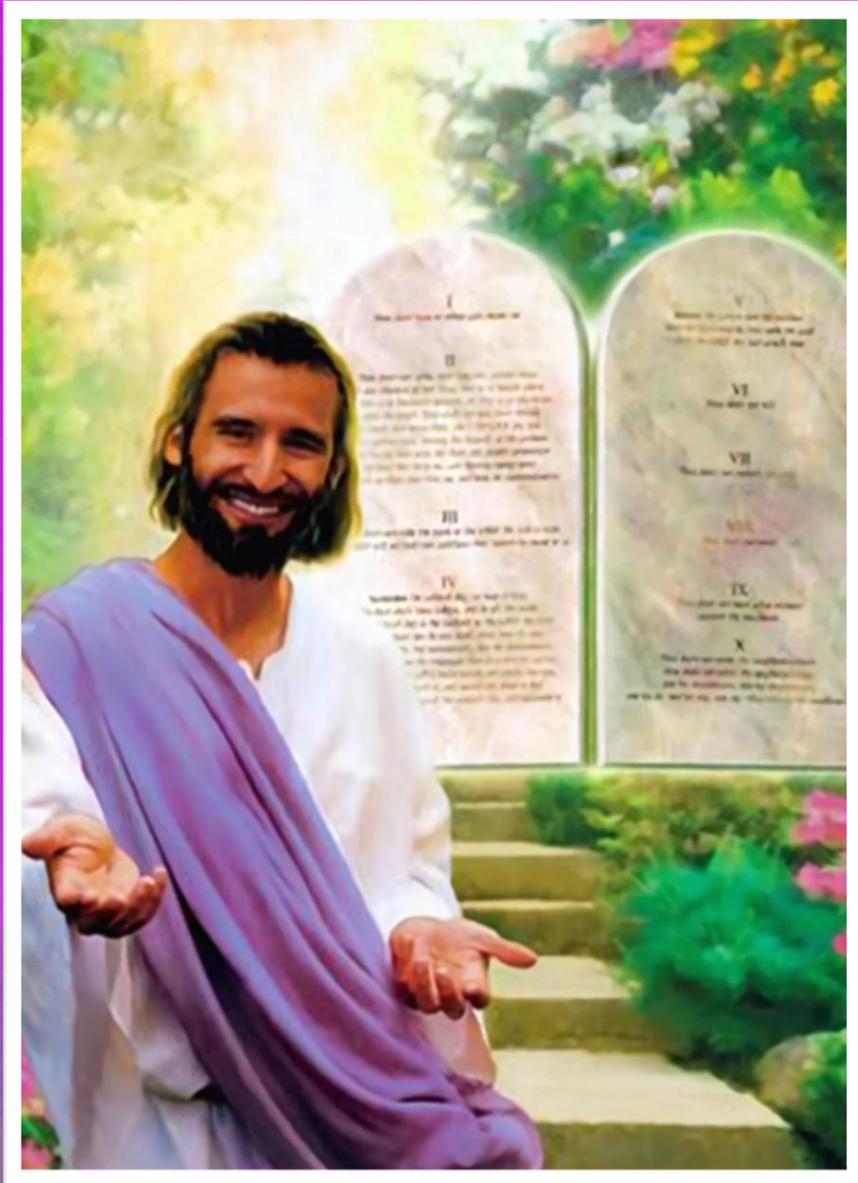
結婚を尊重する

人々の財産を尊重する

他人の評判を尊重する

利己的な欲望によって人格が汚されることの  
ないように、自分自身を尊重しましょう。

出エジプト記**20:1**～**17**を読んでください。  
十戒の原則は何ですか。  
また、十戒はどのように  
構成されていますか。



# 律法の意味

# 神の律法のさまざまな機能

このようにして律法は、信仰によって義とされるために、わたしたちをキリストに連れて行く養育掛となったのである。(ガラテヤ人への手紙 3:24)

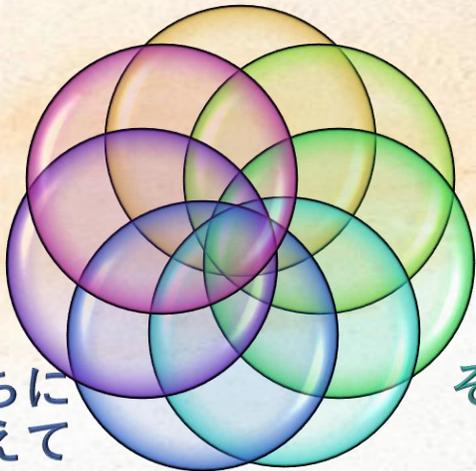
法律の機能にはどのようなものがありますか？

私たちを  
キリストへと  
導く  
(ガラ3:24)

それは私たちを  
悪から遠ざけます  
(詩119:104)

それは私た  
ちに知恵を  
与えます  
(申4:6)

イエスは私た  
ちの罪を指摘  
されます  
(ロマ7:7)



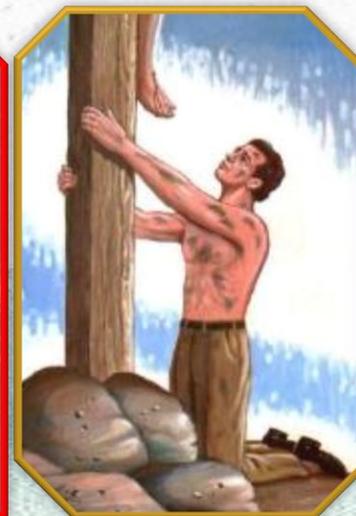
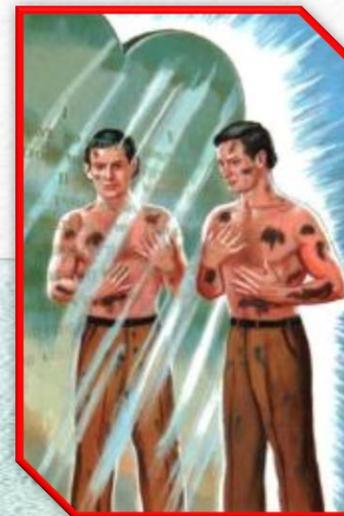
それは私た  
ちに自由を  
与えます  
(ヤコ2:12)

神は私たちに  
繁栄を与えて  
くださいます  
(ヨシ1:8)

それは私た  
ちに  
平安を与えて  
くれます  
(詩119:165)

救いは律法の機能ではありません(ガラ2:16)。律法は私たちの罪を映し出す鏡のようなものです(ヤコ1:23-25)。

鏡を割っても汚れは消えませんし、無視しても消えません。しかし、「鏡」(律法)がなければ、私たちは自分が罪に汚れていることに気づかず、「ハンカチ」(キリスト)による清めが必要なことにも気づかないでしょう。



聖書は明確に述べています。律法は善であり(ロマ7:12)、律法について思いを巡らすことは喜びです(詩1:2)。「ああ、私はあなたの律法をどれほど愛していることでしょう。私は一日中、律法について思いを巡らせています。」(詩119:97)

あなたは神の律法に従おうと努力して、  
どれほど成功してきましたか。あなたの  
救いの根拠となるのに十分なほど成功を  
収めてきましたか。もしそうでないなら、  
なぜ福音が必要なのでしょうか。

# 神の約束としての律法

「そして神はあなたたちに、十の言葉を告げ、あなたたちに守るように命じ、それを二枚の石の板に書き記した。」（申命記4:13、ヘブライ語原文）



ヘブライ語では、十戒は3回言及されており、「十の言葉」と呼ばれています（出34:28、申4:13、10:4）。

考えてみましょう。「約束します」と誰かに言うとき、それは何を意味しているのでしょうか？

実際のところ、私たちはあなたに何かを与えるのではなく、約束をしているだけです。具体的な行動を起こすことを約束しているのです。

したがって、ヘブライ語の語源「dabar」は「言葉」または「約束」と翻訳できます。



例: 「（神が）そのしもべモーセによって仰せられたその良き約束[dabar]は皆一つもたがわなかった。[dabar]。」（王上8:56）

十戒は神が私たちに対して立てた10の約束であり、私たちを正しい道に導くことを目的としています。

律法はどのように私たちをイエスへと導くのでしょうか。つまり、律法は私たち自身について何を明らかにしてくれるのでしょうか。それは私たちを確かにイエスに導くものとなるのでしょうか。

# 神の約束としての律法

キリストは、すべて信じる者に義を得させるために、律法の終りとなられたのである。(ローマ人への手紙 10:4)

ローマ人への手紙10章4節でパウロが律法に適用した「終わり」という言葉は「テロス」です。この言葉の意味は何でしょうか。

主要な意味は、限界または目的として示される点です。  
含意（二次的な意味）：結論、終結、結果、目的。具体的な意味は、それが使用される文によって決定されます。

これを「キリストは律法の終焉である」と訳すと、イエスの死以来、もはや律法は存在しないことになります。したがって、罪は存在しないことになります。パウロは自ら矛盾していることになります（ロマ7:7）。

「律法の終点（指し示すポイント）はキリストである」と訳すなら、パウロの訳は一貫しています。なぜなら、律法は今も効力を持ち、私たちをキリストへと導くからです（ロマ3:31、ガラ3:24）。



「律法は、このとき、ヘブル人だけのために語られたのではなかった。神は彼らに栄誉を与えて、ご自分の律法の守護者また遵守者とされたが、それは全世界のための聖なる委託として保持すべきものであった。十戒は、全人類に適用されるのであって、すべての人の教えと統治のために与えられたのである。十戒は、短くて、簡潔で、権威があって、神と人とに対する人間の義務を網羅し、その全部は愛という根本的な大原則に基づいている。」